

児童養護施設（ベトレヘム学園）の運営

【運営方針】

＜令和2年度重点目標＞

- ・職員の定着...職員一人ひとりの期待するところを伝え、それぞれの強みを活かした育成を継続する。
- ・職員のモチベーション向上...職員の話聴くことに力を入れるとともに、職員の発信力を高め、ボトムアップの仕組みをつくっていく。

＜中長期計画＞

- ・東京都社会的養育推進計画において、施設の地域分散化が求められることを受け、令和3年度グループホーム開設を目指し、それに伴う人員や物件の確保を行う。
- ・同じく、施設の高機能化が求められることを受け、地域のニーズを把握し、ナザレットの家とも連携して、ベトレヘム学園が地域の子育て支援の拠点を目指す。
- ・職員増配置やグループホーム開設のために、人材確保を戦略的に行う。
- ・「育児指導機能強化事業」※を実施するために、職員を育成し環境を整える
- ※ 乳児院等に育児指導担当職員を配置し、入所児童やその家族に加え、地域で子育て中の家庭等からの子育てに関する相談に応じることにより、子育てに関する不安を解消する等育児指導機能の充実を図る。

＜アフターケア＞

- ・卒園生基金の規程を見直し、卒園生の進学支援や生活困窮に対して、支援を行っていく。

＜その他＞

- ・職員の福利厚生について、職員のニーズを把握し、希望があれば外部機関(ソウェルクラブ等)への加入も検討する。
- ・ナザレットの家との連携は、コミュニケーションを密に取りながら進めていく。

【人員体制】

施設長（会計責任者） 鈴木 ますみ

職 種		定 数	令和元年度3月末見込 常勤換算数（実人員）	令和2年度配置計画 常勤換算数（実人員）
国 基 準	施設長	1	1(1)	1(1)
	(副施設長)	—	(家庭支援専門相談員)	(家庭支援専門相談員兼)
	事務員	1	2.7(4)	2.7(4)
	保育士・児童指導員	20	27.6(29)	24.1(25)
	個別対応職員	1	1(1)	1(1)
	家庭支援専門相談員	1+1(加算)	2(2)	2(2)
	栄養士	1	1(1)	1(1)

加算	調理員等	4	3(3)	3(3)
	看護師	1	1(1)	1(1)
	里親支援専門相談員	1	1(1)	1(1)
	心理療法担当	1	1(1)	1(1)
	嘱託医	1	(精神科医と兼務)	(精神科医と兼務)
	地域小規模児童指導員	6	5(5)	6(6)
都基準	保育士・指導員 (専門ケア職員加算)	1	1(1)	1(1)
	治療指導担当職員	1	1.8(2)	0.5(1)
	小児精神科医	0.2	0.4(4)	0.4(4)
	自立支援コーディネーター	1	1(1)	1(1)
合計		43.2	50.5(57)	46.7(53)

【利用実績等】

	平成29年度実績	平成30年度見込	令和元年度見込	令和2年度目標
定員	57人	57人	57人	57人
実績等	55人	54人	53人	51人
利用率	96.5%	94.7%	92.9%	89.4%

【支援方針】

<重点目標>

- ・昨年度に続き、「子どもの希望を叶える」施設を目指すために、子どもの話を傾聴することを、職員に徹底する。
- ・「外部に出た時に恥ずかしくないような社会性を身につける」ことを、継続して行う。
- ・職員の人数が足りない関係で、閉鎖するユニットが出てしまうが、職員が確保できれば年度の途中でも、児童構成を見直していく。

<中長期計画>

- ・将来へのイメージが持てるように、年齢別にプログラムを作成し、進学や就労に対する意識を高める取り組みを行う。
- ・虐待等でケアニーズの非常に高い子どもたちの入所が増加しているため、施設の高機能化（具体的には4人の生活単位累計の新設）を目指す。
- ・グループホームを開設し、地域分散化という国及び東京都の推進計画を踏まえた支援を行う。

【災害対策】

- ・BCP（事業継続計画）は、必要に応じて見直していく。
- ・ナザレットの家との防災訓練は、いろいろな想定で行う。
- ・夜間想定避難訓練と、炊き出し訓練を年一回行う。
- ・地域防災ということで、白梅自治会との合同防災訓練を行うとともに、備蓄・備品・避難場所を確保する。
- ・防犯教室や訓練を企画し、防犯意識を高める働きかけをして行く。

【地域との連携】

- ・白梅自治会との行事の共催を継続する。

- ・清瀬市内の地域支援ネットワークへの参画を継続する。
- ・必要なボランティアについては、適宜募集していく。
- ・子育て支援に関する活動を開始する。

【職員の質の向上】

- ・目標成果シートを人材育成に活用し、施設長が育成面談を行うなど、職員の育成にさらに力を入れる。
- ・施設長だけでなく、副施設長、事務長、養護主任も、人材育成のスキルを身に付ける。
- ・職員の働きやすさ、働きがいを向上させることで、職員の定着を目指す。
- ・外部研修を計画的に受講し、処遇改善手当に反映させる。

【施設・設備整備】

(単位：千円)

工 事 等		備 品 購 入 等	
件 名	金 額	件 名	金 額
		車	4,000
		記録管理システム	2,500
		コピー機	900
		冷蔵庫(4台)	480
		洗濯機	120
		テレビ	220
		物置	130

注：工事等は1件100万円以上、備品購入等は1件10万円以上を計上